

原発いらいん!
山口ネットワーク
2022年2月の報告
平和を!
#405号



次の集り

2022年3月13日(日) 13:30
場所 周南市役所シビック交流室 6

「私たちは福島を忘れない」

さようなら上岡原発 県内各地の集り

○東部地域 3月11日(金) 14時30分

中国電力上岡原子力発電所準備事務所
前の歩道。テラス↓P4

・14時46分に福島の方角に向って黙祷。

・可能な方はフカカード、ゼッケン、横断幕
など持ってきて下さい。

○下関 3月11日(金) 17時30分

下関市役所前定例スタンディング

○防府 3月12日(土) 11時

JR防府駅前みなと口集合

○山口 3月12日(土) 13時30分

山口市民館前集合、パレード



○美祿・山陽小野田・宇部 3月19日(土) 10時

宇部市厚南体育広場
テラスを同時
(こいてます)

・集会とパレード

○萩・長門 3月19日(土) 13時

萩市御許町交差点付近

・パレードパネーマンス

○ネットパレード。誰でもどこからでも参加できます。

・くわくは、ハッシュタグの通信にのせてこよう。

#404号のP7

・同封のハートが2つある(祝鳥と小祝鳥のもの)

紙にメッセージを書きつけてスマイルを添えてこよう
て下さい。写真はドイツや韓国からも届きました。

代表者 小中進
〒742-1513 山口県熊毛郡
田布施町麻郷 2208
Tel. FAX. 0820-55-6291
振込口座(年会費2000円)
(郵)01590-55-27469
口座名「原発いらいん/山口ネット」
作製・印刷・発送
周防漢語の自然を井る会
三浦 翠 外

戦争反対。
ロシアのウクライナ
侵攻に抗議
する。

2月15日、上関町議選出陣式のこと。

この日の夕方には無投票と決つたのですが、朝の時点で選挙になるはずだったので、コロナ下で人数減でしたが、緊張感のある出陣式となりました。

「上岡原発を建てさせない町民の会」の主催で、道の駅の海側の広場が会場が報道陣も多数。

祝鳥のウラ29と引子の若者2人が「現状を憂えたい」との思いで名乗りをあげたことに感動して集った人達の表情も明るい。

○まず、「上岡原発を建てさせない上岡町民の会」を代表して、前町議の山根さんより――

「若い2人が勇気ある決断をしてこれようらしい。これからの新しい視点で町議会にも新しい風を吹かせられるだろう。また閉塞感の中にもいる町民の若者たちが一歩前へ出る気持になつてくれるのではなかい。」

さびしい選挙だが皆さんこのように活躍の場を手えて下さい。本当にいっ若者たちです。

○原水協議長の科本さんは――

「EUIが原発をクリーンなエネルギーに位置づけようとしているが、私たちは「原発は必要ないと思っている。原子力に頼りない町づくりに若者の知恵を出して欲しい。」

子孫が安心して生きていける上関町づくりにがんばってほしい。
私たち原水禁も協力して2人の当選を勝ち取りたい。」

○小中進「原発いらいん/山口ネットワーク」代表は――

「若い力が芽はえたとがとこも嬉しい。人口が3000人を割った町は全国に16もある。近くでは阿武町や姫島、そんな町もそれぞれ特性を活かしてがんばっている。上関町でもできるはずだ。がんばって下さい。」

清水康博さん(32)のあいさつ。

「上岡原発を建てさせない祝島島民の会」と町民の会」の推選をもちこま候補した清水康博です。この大役を私が引き受けて大丈夫だろうかとも思いましたが、しつかりと責任を持ちたいという決意をいたしました。

祝島に生れ、祝島で育ちました。高校から10年向町外で暮らし、25才で島に帰りました。

私は自分の生れたこの故郷が大好きという気持ちを、変えず持ち続けています。それは今後とも変わりないと思えます。

しかし、気持だけでは駄目だと思いつけど、気持がなければ取組むことはできません。

原発問題は40年前に始まります。私が生れる9年前のことです。原発計画に分断された町がありました。推進派と反対派の壁をよのあたりにして、悲しい思いをいたしました。

私には現在2才の子供がいます。この子には決して同じ悲しい思いをさせたくありません。この町には同じ思いの人がたくさんいると思えます。

この町の人の中に、本当に原子力発電所が出来て欲しいと思う人がいるだろうか。

新しい財源を見つけていけることができれば、40年前の活気ある町を取り戻すことができるのではないかと思っています。

それを若い者が話し合ってつくっていくことが必ずできると思えます。先年早稲刈りに加って考えたいには必ずできると思えます。

タウンミーティングの場をつくりたいと思っています。

私には実績も知識も経験もありませんが、この町の役に立ちたい、若い世代が考えを協力してよい町にしたいという思いが強くなります。

議員としてできることを全力でやります。

司会・岩木さん――

カブよい、気持のこもった話でした。続いて秋山鈿明さん。

秋山鈿明と云います。移住4年目です。

本土側の土着の人の話をいろいろ聞いてきました。現実を直視すれば、やはりこの町は原発問題と

予っている場合ではない。そんなことをしている間に、町の存続が危ぶまれる事態にならざるを得ない。

今、町づくりを進めたいことが大切。町のよさを増す、支出を減らす。

そのための具体的な行動の計画をつくる。

それだけの役割をこなす。

明日の町のために着実にやるべきことをやる。

この町には様々な垣根がある。離島と本土、役場と住民などなど。

そこに風穴を開けていく。

このままこの町の状態を続けていくのかと思っている人はたくさんいるので、いつかやってみよう。

司会・岩木さん――

秋山さんは誰と会ったか。気楽に話をする人、どういふ人が今まで。上岡町には居なかった。この町の人向関係のギラギラをなくして、新しい町を作ってくれると期待しています。

拍手！



おとこのプロフィール。(前号に選挙法と都合のせられなかつたものです。)

●清水康博さん、31才。

「上岡原発を建てさせない祝島島民の会」現代代表の清水敏保さんの息子さん。

祝島で生れ、中3まで島で暮らし、高校から島外に。

JAに7年間勤務、6年前祝島に帰る。

現在海運業と、Lパケスの仕事をしている。

●秋山鈿明さん、29才

出身は群馬県。関西の大学に進み、在学中岩手大学の復興に2年間行き、地方の暮らに関心を持つ。

大学4年生の時に祝島を訪れて祝島にはまる。

漁師見習いを経て、現在は独立して漁師。漁協の正組合員。祝島に移住して4年。

昨年の年末から町議選を志願して動くようになった。本土側の若い人といろいろ話している。

当然送るだけでなく仲間もできていくという気持でやっている。

選挙に選挙カーは使わず、ハンドマイクでやるつもり。

小出裕章さんの講演会

2022年4月16日(土) 18時〜

宇部市文化会館

2022年4月17日(日) 10時〜

田布施町商工会館・サリジェ

熊毛郡田布施町下田布施4の1
tel 0820-521-2983

催

- ・上関原発のない未来を、柳井地域の会
- ・上関原発建設計画に反対する宇部4町
- ・議会議員連盟

・原発いりゃん、山口ネットワーク

連絡先 小中進

tel 090-8899-6183768
田布施町麻柳2208

住民投票条例は残念な結果に。

島根原発2号機の再稼働を住民の力で阻止しようと、米子、境港、松江で住民投票条例を求め署名活動にとり組んだ。

3市とも法定数の有権者の50%以上の何倍もの署名を提出したのに議会がすべて否決された。

特に境港市は6対9という僅差だった。

鳥取県知事も、中電の立地自治体だけに認めらる「事前了解権」は、得られなかったが、措置費を求めた際には、原電を止める権限(中電から提示されて妥協した)。

正式には、鳥取県議会にはかつて、鳥根県知事に伝え、鳥根県知事が中電に伝えるという形になる。

お山口の私たちは何の手伝いもできなかつたが、どこか一つの市でも、住民投票案になればと見守った。かつて岩国市の艦載機移転反対の住民投票案や、周南市での議会リコールの経験があった。

かわった人達は、やってみて得るものは多かったと話している。

総盤にならざるほどに市民の関心が高まったこと、市議会を傍聴してみても、議会がいかにもどいかに知った。次は、この会から候補を立てる。

1月27日、5人の元首相(小泉純一郎、細川護熙、鳩山由紀夫、菅直人、村山富市)が連名で、Eリ委員会の委員長宛てに書翰を送った。

その趣旨は、「脱原発と脱炭素の共存は可能」とし、脱炭素化に貢献するエネルギーの投資先として、原発を含まないよう求める内容で、欧州での原発推進の動きに異議となえたもの。その中で、福島第一の事故にふれている。

「私たちはこの10年間、福島での未曾有の悲劇と、汚染を目の当たりにしてきました。何10万という人々が政府を追われ、広大な農地と牧場が汚染されました。野蔵不可能な汚染水は、今も増え続け、多くの子どもたちが甲状腺がんに苦しみ、莫大な国富が消え去りました。

この文の中の「多くの子どもたちが甲状腺がんに苦しむ」という部分だが、日本政府の気に入らないらしい。

山口社環境相、高市氏、自民党国会、松野官房長それに維新の会の松野氏も、「放射線のせいだろう」とは考えにくい。「差別や偏見につながるおそれがある」と述べた。

③ 甲状腺がんは100万人に1人しか発症しない病気とされている。それが福島では(当時)8万人以下の38万人の中で266人の発症があった。

甲状腺がんになると手術、再発、他の部位に転移するなど、子供たちは苦しんでいるのに...

中口新聞のオピニオン記事より。↓②

また、市長や市議会議員が住民投票条例を認めない理由は、

- ① エネルギー政策は国が決めるもの。
- ② ニュウリウみずかしい問題は一般市民にはよく理解できなから議会が決める。

しかし、そう言いながら、原発は、安全、必要、安いという電力会社の情報しかない議員が多数である。

また中電の議員対策はすごかった。議会をもれなく傍聴し、条例案に賛成しようは議員に伝達していた。



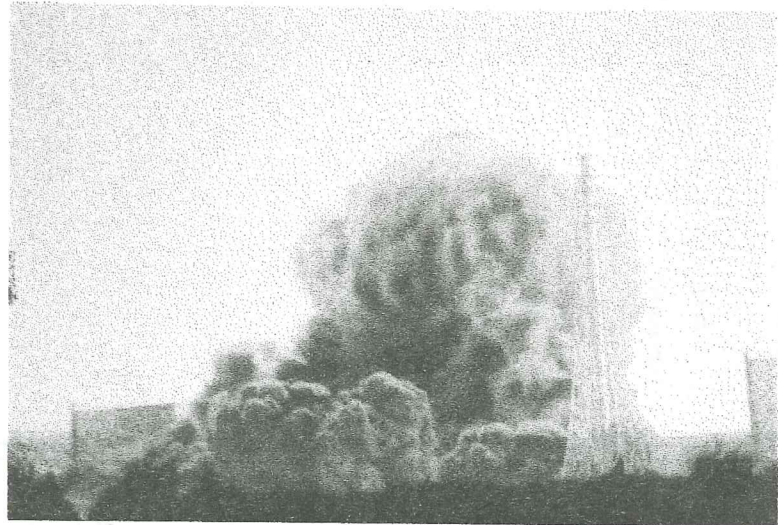
『さよなら上関原発』

東部地域実行委員会 3.11 行動のご案内

毎年3月に計画していた「上関原発を建てさせない山口大集会」は、新型コロナウイルスの感染拡大により、3年連続の中止となりました。

そこで、山口県内の各地域で多彩なパフォーマンスを計画することになりました。

上関原発計画を中止するために皆様のご参加をお願いいたします。



『私たちは福島を忘れない!』

日時・2022年3月11日(金) 14時30分集合

場所・中国電力上関原子力発電所準備事務所前歩道にて

上関町室津 288-13 (尾熊毛・上関消防署1キロ先左側)

内容・東日本大震災発生時刻の14時46分18.1秒にパフォーマンスを行う。

「二度と繰り返さないために」福島へ向けて、参加者全員による黙祷を行う。

※ 東部地域3.11行動は、コロナ感染防止のため、約30分としシユブレキコールは無、各人でマスク着用、プラカード等の持参は歓迎します。

世話人・三浦翠(周南市) 0834-88-3212・戸倉多香子(周南市) 090-5691-4803

池田真由美(周南市) 090-8990-3685・河本文江(下松市) 090-8063-4785

仲山哲男(光市) 090-3812-7125・中川隆志(柳井市) 080-6267-6370

田中豊文(周防大島町) 0820-77-1616・田村順玄(岩国市) 090-9060-7625

岡村寛(愛宕山を守る会) 090-4807-1538・松田一志(岩国市) 090-4108-2762

赤松義生(平生町) 090-8359-7514・駅重寛和(田布施町) 080-5174-1692

主催・「上関原発を建てさせない山口県民連絡会」東部地域実行委員会

【連絡先】小中 進 090-8996-8378

■ イベント情報

イベント	日時	場所その他
総がかり行動 戦争反対、ロシアはウクライナ 進攻をやめろ!	3月1日 17:00~	徳山駅前
伊方原発 運車差止め 裁判	3月10日(木) 14:00~	岩国支部
東部上関原発建てさせ ない集会	3月11日(金) 14:30~	中口電力上関準備 事務所前
朝鮮学校へ補助金を 復活せよ! すわり込み	3月9日(水) 11:40~	山口県庁前広場
原発いらん! 山口ネットワー ク集会	3月13日(日) 13:30~	周南市役所 ミヒコ交流室6
防府・上関原発建てさせ ない集会	3月12日(土) 11時~	防府駅前みなと口
下関上関原発建てさせない デモンストラ	3月11日(金) 17:30~	下関市役所前
山口・上関原発を建てさせ ない集会とパレード	3月12日(土) 13:30~	山口市民館前
美祿・山陽小野田・宇部 上関原発建てさせない 集会とパレード	3月19日(土) 10時~	宇部市厚南体育 広場
萩・長門・上関原発建てさせ ないパレード・パフォーマンス	3月19日(土) 13時~	萩市御許町交差点 付近

↑ 時系列がみだれております。ご注意ください。

■ 原発いらん! 山口ネットワーク会計係からのお知らせです。

今年年会費振込みのための振込用紙と同封してまいります。

よろしくお願ひいたします。年会費は2000円です。

可能な方はカンパもよろしく。

全員に同封してまいりますので、お忘れの方は気に
おさらばして下さい。 会計係 三浦 翠

■ 裁判のこと

伊方原発運車差止め裁判(本訴)(13回)

2022年3月10日(木) 14時

山石国支部

○次回(14回)の裁判は、5月19日です。

■ 福島からのメッセージ。

黒田節子さん(原発いらん! ぶくしま女
仲間たち(仮結))からのメッセージを、ネットパレード
の用紙のウラに印刷してまいります。(ハートが2つの紙の
うりです)お読み下さい。

■関連の新聞記事

- (1/29日経)太陽光買い取り95円。経産省、23年度
案、初の10月未満。
- (1/30中国)凍土壁トラブル相次ぐ。福島オ、温度上昇
の原因不明
- (1/30日経)デュークセラーに省エネ目標。経産省、補助金を
(1/30日経)世界の活火山7%が日本に。
- (2/1中口)電カ6社、通期赤字予想。
- (2/3日経)環境相、元首相より注意。高市氏、松野氏も
↓P⑦
- (2/3中口)原発グリッド認定、EUI委が正式提案。
- (2/3日経)EUI変心に投資家反発。「科学より政治
優先」と批判。
- (農業の環境負荷低減に税制支援、新法案提出。
有機農業は土中にCO2をたくわえる。(2/4中口)
- (2/4中口)住宅省エネ義務化法案提出延期。
- (2/4中口)EUIの「原発グリーン」認定方針に脱原発
の国から批判の声。持続可能でなくリスク高い。
- (2/4日経)中国洋上風力、日本に進出。富山沖で3
基受注へ。
- (2/5日経)所有者不明土地、防災、再生エネに。改正法
案閣議決定。
- (2/10日経)太陽光設備を共同購入。岡山の6市町、
住民向け、希望募る。
- (2/8日経)再生エネ株、3つの逆風。業績悪化、競争
激化、脱炭素停滞。
- (2/8日経)交流→直流へ送電大転換はじまる。再生エ
普及へ電カロス抑制。
- (2/8中口)中国地方、太陽光の8割稼働。
- (2/8日経)自民部会決議案、原発宣言の元首相ら、
「科学的根拠なく無責任」と。↓P⑦
- (2/9中口)長崎「黒い雨」再検証。専門家会合、救
済へ初会合。
- (2/9中口)台湾日本産食品輸入解禁へ。

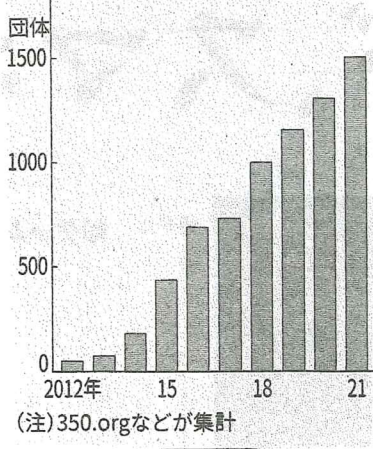
解除後に残る台湾の輸入規制		
規制内容	品目	対象地域
一部産品の 輸入停止	野生鳥獣肉 キノコ類 コシアブラ	福島、茨城、栃木、 群馬、千葉
5県に対する 一律の輸入停 止措置は廃止		
放射性物質 検査報告書と 産地証明書を 添付	全ての食品 (酒類を除く) キノコ類 水産物 乳幼児用食品、 乳製品 茶類	福島、茨城、栃木、 群馬、千葉 岩手、宮城、山梨、 静岡 岩手、宮城 宮城、埼玉、東京 静岡
産地証明書を 添付	上記を除く全ての 食品(酒類を除く)	47都道府県

※このほか日本国内で出荷制限措置が取られている品目も輸入停止

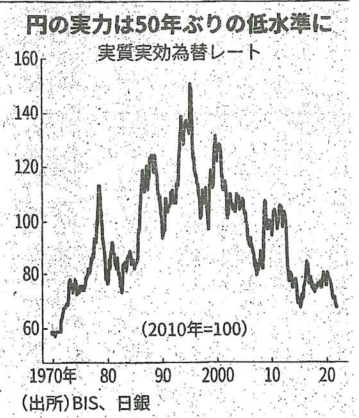
(2/9 中口)

- (2/9日経)中央アジアカブ、ロシアから原発導入へ。
- (2/12)「原発事故を想定、首相が防災訓練。
官邸から参加
- (2/12日経)仏、原子炉6基を新設へ、50年までに。
脱原発のり転換。
- (2/11中口)福島オ、1号機、デブリの可能性の塊
をロボトカメラがとらえる。
- (2/11中口)県議補選、光市の磯部登志恵(自)は、自
民党ではなく、人合派「光風会」を設立。↓P⑦
- (2/11日経)脱・化石燃料の波、社債にも。欧州年金
ほど、石油、ガスから撤退。

化石燃料企業からの投資撤退の表明が増加



- (2/11日経)欧州で、核融合発電、開発進む。コスト、
廃棄物が課題
- (2/13中口)IMF日本経済分析文書から、「石炭支援
廃止」を削除、政府が要望。
- (2/13日経)米小型原子炉メーカー上場へ。新興ミ
ースケール・パワー
- (2/15中口)風力発電電見直し。環境省が意見書。
上野見島でクマタカ影響目。
- (2/15日経)「原発を使え水素をつくる」オクの水素
米政実用化へ。
- (2/15日経)福島オの処理水、IAEA調査団18日
に報告書。
- (2/16中口)上岡町議選24年ぶり無投票。↓P①
- (2/16中口)バイオマス燃料導入進む中口地方。出クリとま
3.倍。
- (2/17日経)とっとり市民電力(鳥取ガスと鳥取市が共同
出資)脱炭素電カ5割以上に。
- (2/19日経)円の実カ50年ぶりの低さ。



(2/19 日経)

・(2/20 中口) 脱炭素行程表が割が本策案、エネ消費企業、口と温度差

・(2/21 中口) 原発安全対策費 5.7兆円、電力11社の当初想定、の2倍超

原発の安全対策費		当初の安全対策費	1月時点の安全対策費
北海道電力	泊	900億円超	2000億円台半ば
東北電力	東通女川	1540億円	4800億円
東京電力	柏崎刈羽	2930億円	1兆1690億円
北陸電力	志賀	1100億円	1000億円台後半
中部電力	浜岡	3000億円	4000億円
関西電力	美浜	2400億円	2700億円
	大飯	2830億円	2800億円
	高浜	5467億円	6600億円
中国電力	島根	1000億円以上	6000億円
四国電力	伊方	1200億円	2100億円
九州電力	玄海	計2千数百億円	計9千数百億円
日本原子力発電	東海第2	780億円	2400億円
	敦賀	900億円	900億円
電源開発	大間	1300億円	1300億円
合計		2兆7345億円	5兆7790億円

※東北電力は東通原発の安全対策費を示していない。四捨五入の関係で数値が一致しない部分がある。

・(2/21 日経) 新電力、新規契約停止相次ぐ。燃料高で調達難「売るほど損」

・(2/27 中口) 燃料高騰反映、中電の新料金メニュー、上限なし割高の恐れ

・(2/26 中口) 瀬戸内「豊か海」に。政府環境保全計画を、改定。



島根「原発関連」の記事。(すべて中口新聞)

・(2/30) 原発避難先、手引作成進む。島根の住民、広島岡山49市町村が受け入れ。

・(2/21) 住投 松江市、11006名の署名を市長に提出、1/50の3.3倍

・(2/23) 原子力防災訓練。コロナ下で住民参加見送り。

・(2/24) 住投 米子市議会否決。25人中10人賛成

・(2/25) 住投 松江市上定昭に市長、反対意見付けて、市議会に。

・(2/28) 松江市長、使用済核燃料早期搬出を要求。

・(2/28) 住投 境港市伊達憲太郎市長、反対意見付け。

・(2/11 日経) 経済団体島根県知事に要望書「島根原発再稼働早く」と。

・(2/12) 松江市長、再稼働に同意の意向。

・(2/16) 住投 松江市議会再稼働承認。

・(2/16) 住投 松江市長、再稼働に同意。

・(2/16) 県知事の判断焦点に。

・(2/17) 鳥取県、米子市、境港市が再稼働めぐり、合同会議。

・(2/18) 住投 境港市議会、否決。6対9で。

・(2/18) 松江市、中電に「事前了解」を伝達。

・(2/19) 鳥取県に措置要求権、中電に回答。

住投は住民投票系列関係

上里恵子さんがすごい冊子を作りました。表題は

「上関原発計画はどんな姿を呈しているのか」

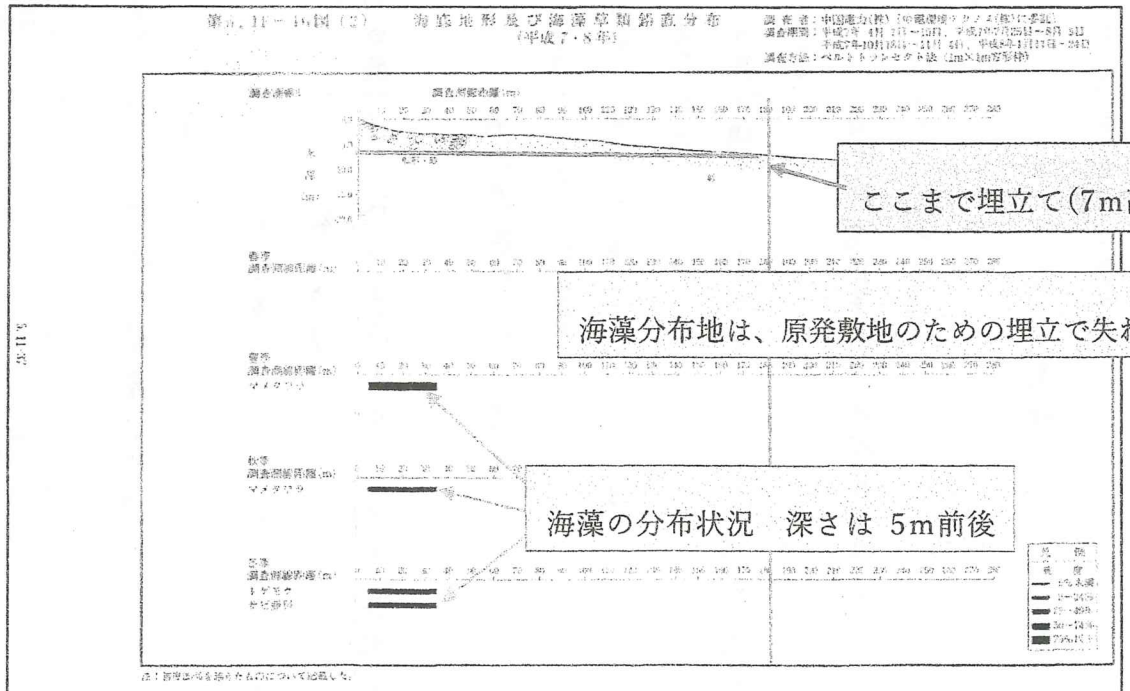
中国電力、山口県、国の手続き文書から読み解く、80ページ力作、

中電が嘘とごまかしを強引に押しつけて来たことが一つついでに新しい資料で明らか。

海岸線の埋立は生態系の根幹に影響を与える

(冊子の49ページより)

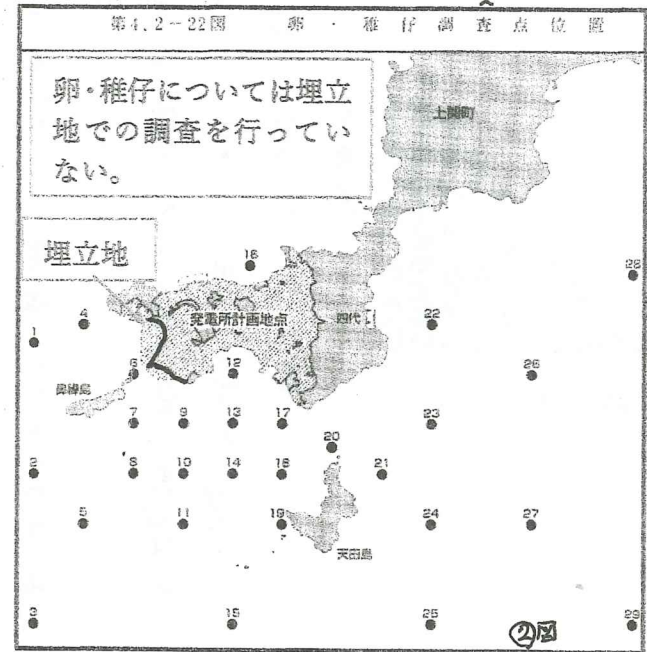
《海藻の分布と埋立深さ》(埋め立てると海藻の分布位置は犠牲に)



⑥ 1冊500円、注文は上里さん(082-437-3686)まで。

④ 埋立地とあり

るところは魚が豊富に湧水があり、水が澄んで山からの栄養もある。このため、魚の卵・稚魚が海産物があります。



●は調査地点。

せん。もっとすごい数字が出てくるからでしょう。

祝賀の漁師さんたちは「埋め立てられたらやれん」と言います。

経験からこの海域の魚の豊かさが、ここにあり、これがわかっているのだ。

④ 図は断面図です。埋立られると海産物はなくなります。



論説主幹

宮崎 智三

小泉純一郎氏や村山富市氏ら元首相5人による連名の書簡が波紋を広げている。原発回帰に動く欧州連合(EU)に対し、東京電力福島第1原発事故を引き合いにして、方針撤回を求めたものだ。

書簡は、福島の事故について説明した上で「多くの子供たちが甲状腺がんに苦しみ」と続く。この部分が抗議や批判を招いた。

事故から間もなく11年。なぜ、ものの見方がこれほど分かれるのか。書簡が引き起こした波紋を契機に、放射線の影響を改めて考えたい。

子どもの甲状腺がんについては、福島県が県民健康調査の一環で5巡目まで検査を続けている。約38万人のうち、甲状腺がんと診断されたのは250人を超す。うち摘出などの手術を受けた人も多く、再発による再手術や転移もあったという。

発生確率が低く、検査を始める前は100万人に1〜2人見つかる程度といわれていた。それに比べて、多いのは確かだろう。

山口壮環境相は、5人に送った抗議文で「放射線の影響とは考えにくい」と国内外の専門家会議が評価していると指摘。その上で書簡の文面だと「差別や偏見につながるおそれがある」と切り捨てる。広島、長崎の被爆者も差別に苦しめられてきた

元首相による書簡の余波

福島事故 忘れないために

から、人ごとではない。

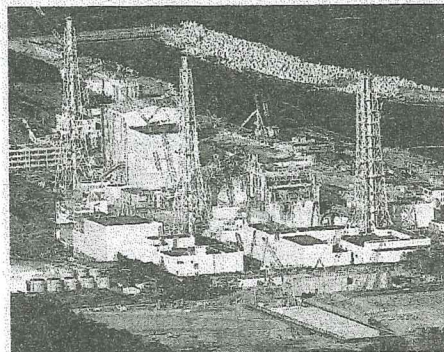
しかし、疑問も浮かぶ。放射線の影響でないのなら、なぜ250人を超す子どもが、がんになったのか。

原因が明らかにならない限り、本人はもちろん、周囲も安心できない。環境省がウェブサイトで紹介している県民健康調査に関するサイトを読んでみた。放射線の影響をどう評価するか、専門家でも意見が分かれている。生半かな知識で黒白つけられるような状況ではなさそうだ。

県民健康調査の検討委員会は2019年、「甲状腺がんと放射線被曝との関連は認められない」との見解を明らかにした。しかし「現時点において」「2巡目の結果に限定」との注釈付きだ。さらに「将来的な見通しに言及したものではない点に留意する必要がある」とまで記している。先のこととは分からないと明らかにする態度は、科学者として誠実だと言えよう。どう受け止めるかが問われているのかもしれない。

思い出すのは牛海綿状脳症(BSE)を巡る英国政府の失敗だ。人体への影響を検討するため、オックスフォード大教授をはじめ、動物学やウイルス学、獣医学の第一人者らでつくる委員会を設けた。

結論は、BSEが人間に感染することは起こりそうにない、だった。



事故9カ月後の福島第1原発。収束の日はまだ見通せない

それを受け、英国政府は牛の安全性を強調した。ところが7年後、BSEに感染した人間が確認されて、社会はパニックに陥った。

実は、委員会の報告書には警告とも取れる「留保」が付いていた。非常に限られたデータに基づいて判断したため、可能性に関する自分たちの評価が間違っていたら、影響は非常に深刻なものになるだろう、と。データがそろわないのに結論を急ぐと、しつぱ返しを食う恐れもあり得る。英国の事例から、そんな教訓を私たちが学ぶべきである。長期にわたって人体に影響をもたらしかねない放射線には特に注意したい。

最初の疑問に戻ろう。放射線の影響でないなら、がん多発の原因は何なのか。検討委員会は、高感度の検査を採用したことによる「スクリーニング効果」などを理由に挙げている。検査対象を広げたことで手術が不要ながんまで見つけてしまう「過剰診断」との指摘もある。

ただ、2巡目以降でも、がんが一定数見つかったことへの説明がつかない、などの批判がある。過剰診断という意見が十分な説得力を持っているのではないだろうか。

手術を担当した福島県立医科大学の教授たちも個々の症例を基にして、過剰診断との意見には否定的だ。一方で、放射線の影響については、チエルノブイリ原発事故との比較から「考えにくい」と判断している。

今後も、冷静に検査や分析を進めるしかない。その結果、例えば過剰診断の可能性が色濃くなったとしても、事故を起こした東電や政府の責任を問いつける必要がある。事故は終わっていないのだから。

(2/15 中口)

風力発電見直し 環境省が意見書

鹿児島県クマタカ影響

環境省は14日、鹿児島県北部で計画されている風力発電所整備を見直すよう求める意見書を経済産業省に提出した。国内希少種に指定されるクマタカが生息しており、風車への衝突などが懸念されるとした。環境影響評価(アセスメント)の一環で、経産省が意見書を踏まえて事業者に見直しを勧告する。

計画では、ユーラスエナ

ジーホールディングス(東京)が薩摩川内市など3市1町に風車計25基を設置する。総出力は約10万kw。環境省によると、希少な渡り鳥の飛行ルートにもなっているという。

意見書は、クマタカによる営巣や繁殖の実態を詳細に調べる必要があるとした上で「風力発電施設の設置取りやめや配置変更を含む環境保全措置の検討」を求めた。

2.2.11 中口

補選当選の2人

「自民党」会派に

高井氏と岡氏

6日の県議補選で当選した、いずれも自民党新人の高井智子氏(53)＝宇部市＝と岡生子氏(50)＝萩市・阿武町＝の2人が10日、最大会派「自民党」に入り、計28人となった。また無所属新人の磯部登志恵氏

(62)＝光市＝は新たに1人会派「光風会」を設立した。

20年10月の市長選挙には上岡原発は必要と言、2立候補していたが 今回の県議補選では3人の候補が競うように上岡原発反対を公約に立候補。当選した磯部氏も自民党に直行はできなかった。

それにも本物の上岡原発反対の議員を立てられなかったことは悔まれる。

目からウロコ “フクイチ”

2021年の福島・避難者から家を奪う県

民の声新聞

【民の声新聞が見た 2021年の福島】
「区域外避難者追い出し」
「汚染水海洋…原発事故後に
続く民主主義破壊や人権蹂躞

2021/12/31 (抜粋)

未曾有の震災・原発事故発生から丸10年が経過した2021年が終わる。新型コロナウイルス対応に始まり、震災や原発事故からの復興とは全く関係ないレベルで開催された東京五輪。そして、その陰で着々と進められた“自主避難者、(区域外避難者)の追い出しや汚染水海洋放出の準備。2月には福島県沖を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、原発事故後の行政文書が次々と廃棄されていることも判明した。109本に達した民の声新聞が見た2021年を振り返りたい。そこから見えてくるのは、原発事故による民主主義の破壊と人権の蹂躞だった。



【被災県が県民相手に訴訟】

昨年だけ無かった「今年の漢字」が復活した。27日午前に開かれた年内最後の定例会見。地元紙・福島民報の記者に促されるように、内堀知事は「機」を示した。しかも、今年はスライドまで用意して、なぜ民報の記者に促されるように、内堀知事は「機」を示した。しかも、今年はスライドまで用意して、なぜ

「機」を選んだのか説明した。

「今年1年、やはり振り返りますと、『危機』と『機会』、両方混ざり合った状態でありました。ただ我々は常に、この危機を乗り越えようということで、新型コロナウイルスにしても、あるいは東京オリンピック・パラリンピックにしても、様々な挑戦を継続して、『危機』を『機会』に変えていくための努力を続けてきました。まだ残念ながら感染症はオミクロン株の猛威もあって正に途上でありまして、福島の復興、地方創生も途上であります。来年においても、『危機』を『機会』に変えるための挑戦をしっかりと継続していきたいと考えております」

内堀知事はそう言うが、一方で「危機」に追い詰められた年でもあった。

福島県は2020年3月、原発事故で政府の避難指示が出なかった区域から避難し、国家公務員宿舎に身を寄せた“自主避難者、(区域外避難者)4世帯を相手取り、明け渡しと家賃などの支払いを求めて福島地裁に提訴。今も裁判は続いている。

それだけではない。国家公務員宿舎から退去できていない他の避難者に対して、2019年3月末で入居期限が切れているとして家賃2倍の「損害金」を請求。さらに、本人の同意なく親族住所を調べて退去に向けた協力(要するに家賃等支払い)を求める文書を送りつけたばかりか、家庭訪問までした。「退去に応じなければ訴訟も辞さない」と親族に伝え、実際に訴訟を視野に入れた民事調停を申し立てている。



原発事故被災県が避難した県民を相手に訴訟を起こすという愚行だが、福島県生活拠点課は「これまで戸別訪問などを通じて住まいの確保に向けた支援を続けてきたが、供与終了から4年以上が経過しても再三の明け渡し要請に応じていただけず、未納となっている使用料等の時効も到来することからやむを得ない」との姿勢を貫いている。

原発事故被災県が避難した県民を裁判で追い出すという愚行に、避難当事者や支援者から怒りの声があがっているが、福島県は「やむを得ない」との姿勢を貫いている

【地ならし進む海洋放出】

菅政権は4月、原発事故後にたまり続ける汚染水を2年後をめどに海洋放出する方針を決定。「ALPS(多核種除去設備)で処理したうえで海水で希釈して規制基準以下にするから問題ない」というのが国の理屈だった。

しかし、そもそも福島県民は海洋放出に同意していない。いわき市小浜浜や福島県庁前で市民団体が抗議のスタンディングを展開しただけでなく、県内の7割を超える市町村議会が海洋放出に反対、もしくは慎重な対応を求める意見書を可決。

いわき市の清水敏男市長(当時)は6月の市議会で「本市の再三の要望にもかかわらずまだ十分な理解が得られたとは言えない状況の中、国が海洋放出を決定したことは誠に遺憾であり、現時点で承服できるものではなく、市議会5月臨時会において意見書が可決されましたことにつきましても重く受け止めている」と答弁。

今月27日の「福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会」(廃炉安全監視協議会)の第7回会合でも、同市原子力対策課の室拓也課長が「今は関係者の理解を得る過程の途上であると認識している。技術的な内容でありながら原子力規制委員会への申請がなされて決定されるということになると、関係者の十分な理解がないままに放出に向かって進んでしまうという印象が拭えない。慎重を期した対応が求められている」と釘を刺すなど、漁業者以外からも異論が絶えないのが現状だ。

しかし、東電が約1キロメートルの海底トンネル工事に向けた地質調査を行うなど、海洋放出に向けた既成事実は着々と積み上げられている。肝心の内堀知事は4月の政府方針決定の際も、記者会見で「福島県自身が容認する、容認しないと言う立場にあるとは考えておりません」と発言し、記者クラブメディアを驚かせた。

年内最後の定例会見でも「ALPS処理水の処分については、漁業者の皆さんをはじめ多くの関係の皆さんから新たな風評を懸念する声など様々なご意見が示されている。政府においては関係団体等としっかり向き合っていないに説明を重ねていくことはもとより、日本全体の問題として分かりやすい情報発信に取り組むことが重要」と言うばかり。



県知事自ら民主主義に背を向け県民の想いは無視されたまま、海洋放出への地ならしが進む。

原発汚染水の海洋放出計画を巡っては、福島県内外から反対の声が高まっているが、内堀知事ははっきりと反対姿勢を打ち出さない

2022年1月31日作成 「アヒンサー」
(目からウロコ FC2 アヒンサー)

本の紹介

「汚染水海洋放出の争点」
渡辺悦司、遠藤順子、山口耕作 共著
緑風出版 2700円+税

フクイチの危険性はなぜ軽視されているのか?
内部被曝で健康をどう破壊していくのか?